

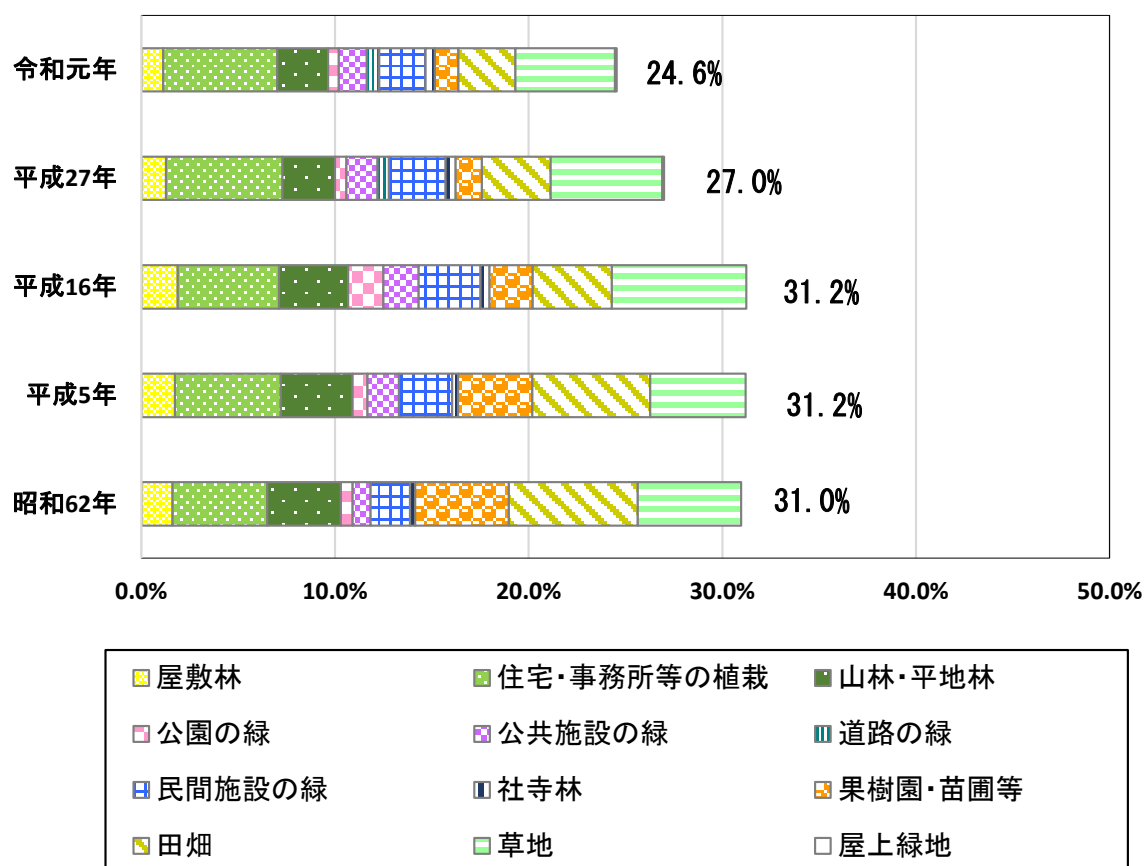
## (2) 東部地域

### < 現状 >

地域全体での緑被率は24.6%で、「屋敷林」「住宅・事務所等の植栽」「山林・平地林」「民間施設の緑」等の構成比が他地域と比べて高いのが特徴です。しかし、「山林・平地林」「民間施設の緑」は減少傾向にあり、その他、「果樹園・苗圃等」「田畑」も長期的に減少傾向にあります。

地域内では、国分寺崖線、仙川崖線といった崖線、野川、仙川、入間川の水系が地域内を通り、緑の骨格を形成しています。その他、特徴的な緑として、入間町、若葉町、東つつじヶ丘、緑ヶ丘には農地が比較的まとまっており、屋敷林とともに農の景観を形成しています。また、糟嶺神社・明照院等の社寺林、実篤公園などの歴史文化遺産と一体となった緑が分布しています。

緑被率の経年変化



出典：調布市緑に関する実態調査結果（令和元年度）

## < 課題 >

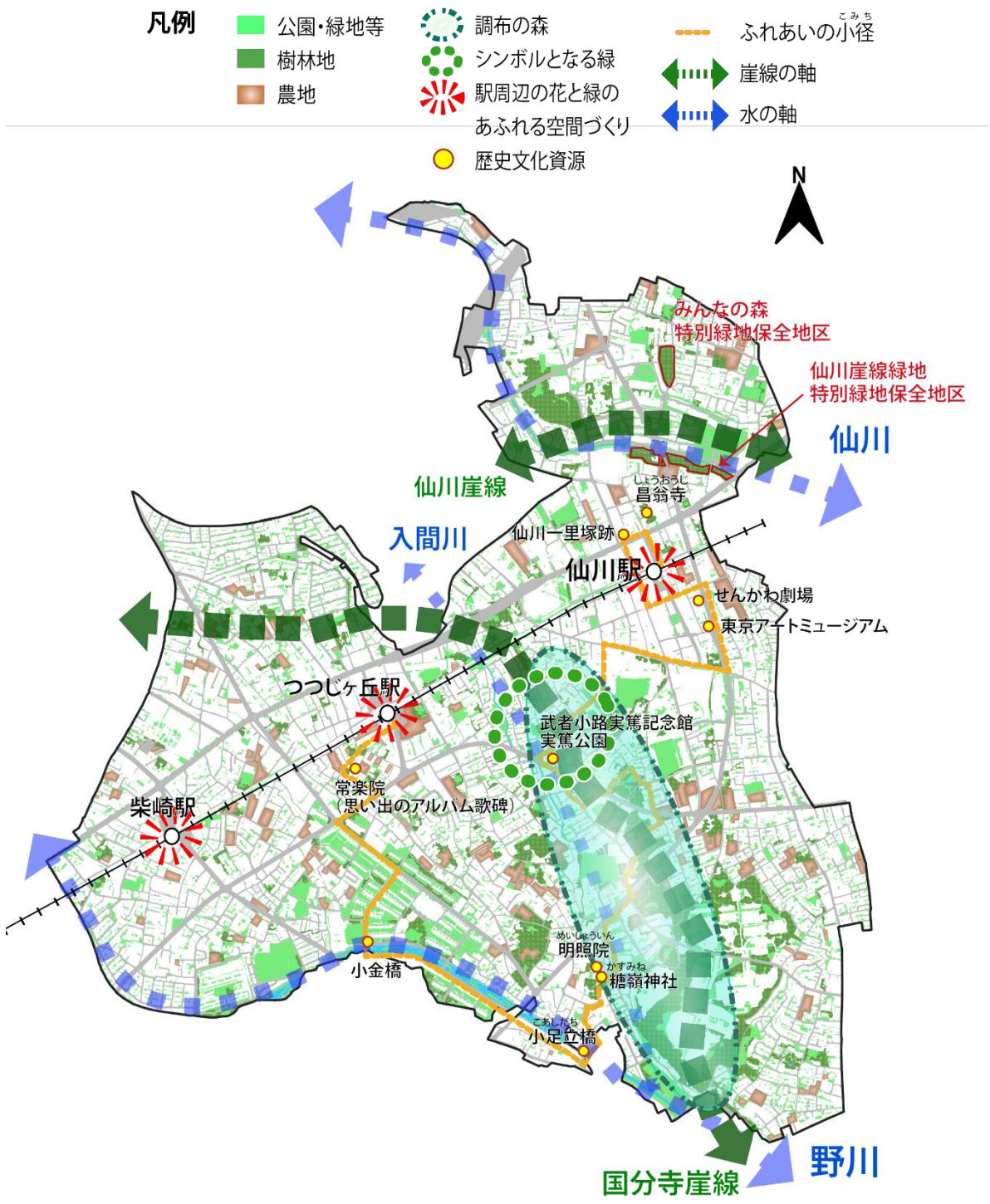
- ・東部地域において構成比が比較的高い緑は民有地の緑が多く、地域の緑環境の保全のためにはこれらのコントロールが課題となります。
- ・国分寺崖線や文化資源、農地等の主要な緑を引き続き保全していく一方で、駅周辺や甲州街道沿いでは公園・緑地が少なく、緑の環境の創出が課題となります。
- ・仙川駅やつつじヶ丘駅周辺には公園不足地域があると同時に、民有地の公園（借地公園）に依存している地域もあり、公園の拡充が求められます。
- ・市民意向では、街路樹や身近な公園といった人工的な緑についての印象が強い一方で、水辺の緑や自然の景色に対する満足度が低くなっており、農や社寺の景観と一体となった自然な緑の空間形成が求められています。
- ・国分寺崖線と都市計画道路の一部が重複しており、道路と緑の共存や国分寺崖線の保全に配慮した検討が必要です。

## < 方針 >

### **崖線に象徴される武蔵野の緑のはじまりを身近に感じる環境づくり**

公園・緑地の整備・維持管理を推進しながら、国分寺崖線や仙川崖線などの崖線、糟嶺神社・明照院等の社寺林、実篤公園などの歴史文化遺産、東つつじヶ丘地区の都市農地等の緑を保全し、調布らしい緑を感じられる環境を形成します。

< 地域の将来像 >



< 施策 >

施策名	概要	全体計画との対応
仙川駅やつつじヶ丘駅周辺の公園不足地域の解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>仙川駅やつつじヶ丘駅周辺には公園不足地域や借地公園に依存する地域があり、これらの解消のために、公園の配置・整備を検討します。</li> </ul>	1-(1) 質の高い公園・緑地の適正配置と利用促進 4-(1) 公共施設の緑化の推進
国分寺崖線・仙川崖線の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>崖線を保全しながら、仙川崖線、国分寺崖線等、武蔵野の原風景を伝え、多様な生物の棲み処となる貴重な自然を保全します。</li> </ul>	3-(2) 崖線・樹林地・湧水などの保全と活用 5-(2) 生態系の保全と再生
実篤公園と調和した緑の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的資源と調和した緑の形成のため、実篤公園は調布市武者小路実篤記念館と一体となった管理と活用を推進します。指定管理者制度により民間活力を活かしていきます。</li> </ul>	3-(3) 歴史・文化資源と一体となった緑の保全と活用
仙川、野川、入間川を活かした水のネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>水辺に対する市民満足度が低いため、仙川、野川、入間川については市民と協働で良質な河川環境の保全と活用を図りながら、生態系ネットワークの形成を推進します。</li> </ul>	3-(4) 川辺の保全と活用 5-(2) 生態系の保全と再生
東部地域の都市農地の保全と振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>農の景観と民有地の緑の保全として、東つつじヶ丘地区をはじめとした都市景観と一体となった都市農地を保全し、農地の多面的機能を活かしながら振興を図ります。</li> </ul>	3-(5) 都市農地の保全と多面的な活用
東部地域をめぐる緑のネットワーク形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路における緑の共存のため、甲州街道や松原通りにおいては街路樹・植栽の維持管理を適切に行い、今後整備する都市計画道路においては整備を推進します。</li> <li>小中学校等においては緑のカーテンの取組を推進します。</li> <li>つつじヶ丘駅－仙川駅を結ぶ、ふれあいの小径については、歩きたくなる空間創出を推進します。</li> </ul>	4-(1) 公共施設の緑化の推進 5-(1) 水と緑のネットワーク形成
仙川駅、つつじヶ丘駅、柴崎駅周辺の緑のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅周辺の緑の創出のために、仙川駅、つつじヶ丘駅、柴崎駅周辺の花と緑のあふれる空間づくりを推進します。</li> </ul>	5-(1) 水と緑のネットワーク形成 6-(2) 水と緑をそだてる意識づくり

< 施策位置図 >

凡例  
■ 公園・緑地等  
■ 樹林地  
■ 農地



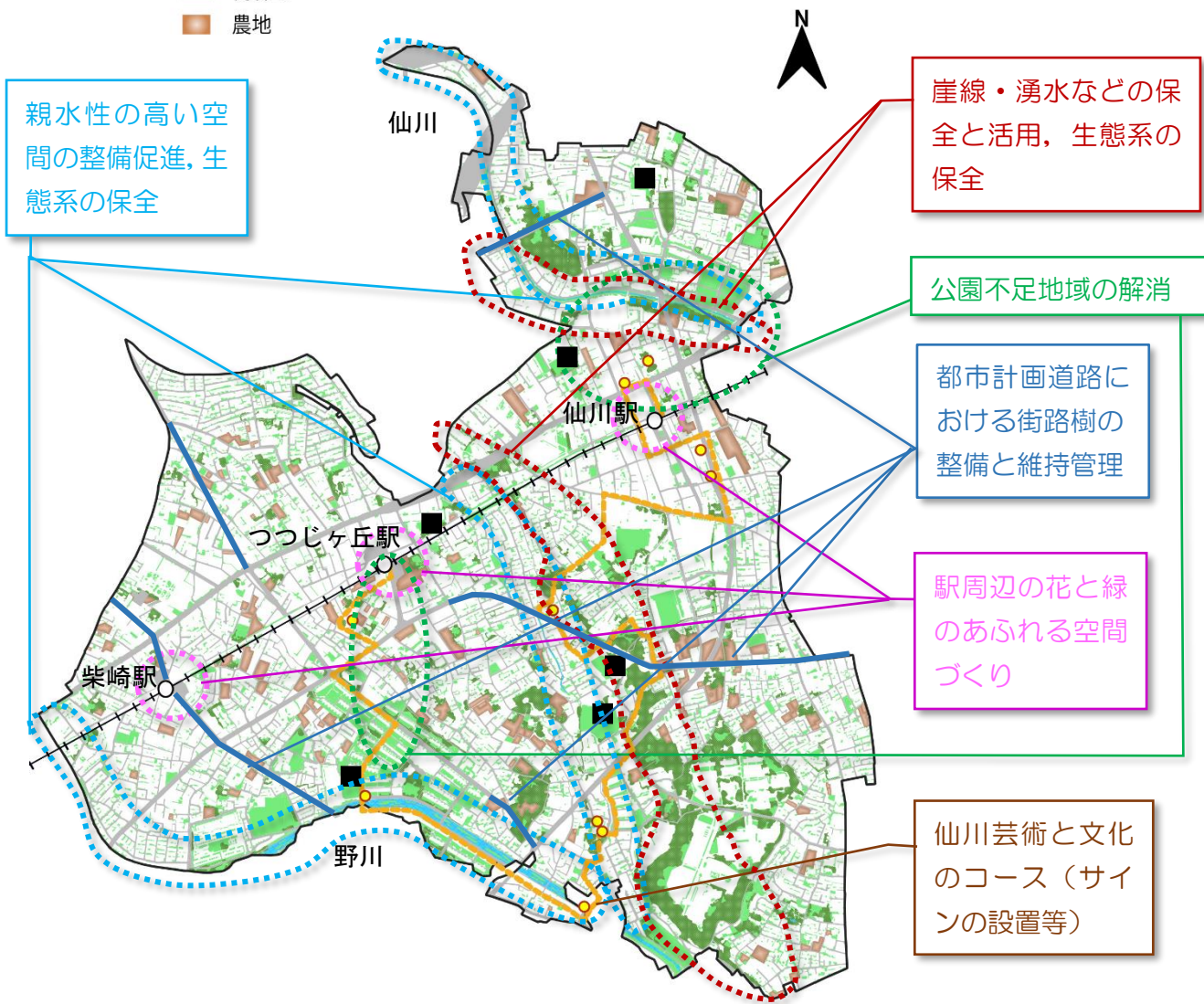
都市農地の保全と多面的な活用



歴史・文化資源と一体となった緑の保全と活用



公立小中学校における緑のカーテンの取組推進



【全域で取組む施策】

- 1-(2) 市民参加による公園整備・管理の推進
- 2-(1) 公園・緑地等の計画的な管理
- 2-(2) 防災性を高める身近な緑の保全
- 2-(3) 公園・緑地の利用の適正化
- 3-(1) 民有地の緑化推進
- 4-(2) 市街地・住宅地の緑化による街並み形成
- 4-(3) 身近な樹木・植栽の保全
- 5-(3) 緑資源を活かした循環型社会の形成
- 6-(1) 市民・事業者・行政の協働による緑化活動の推進

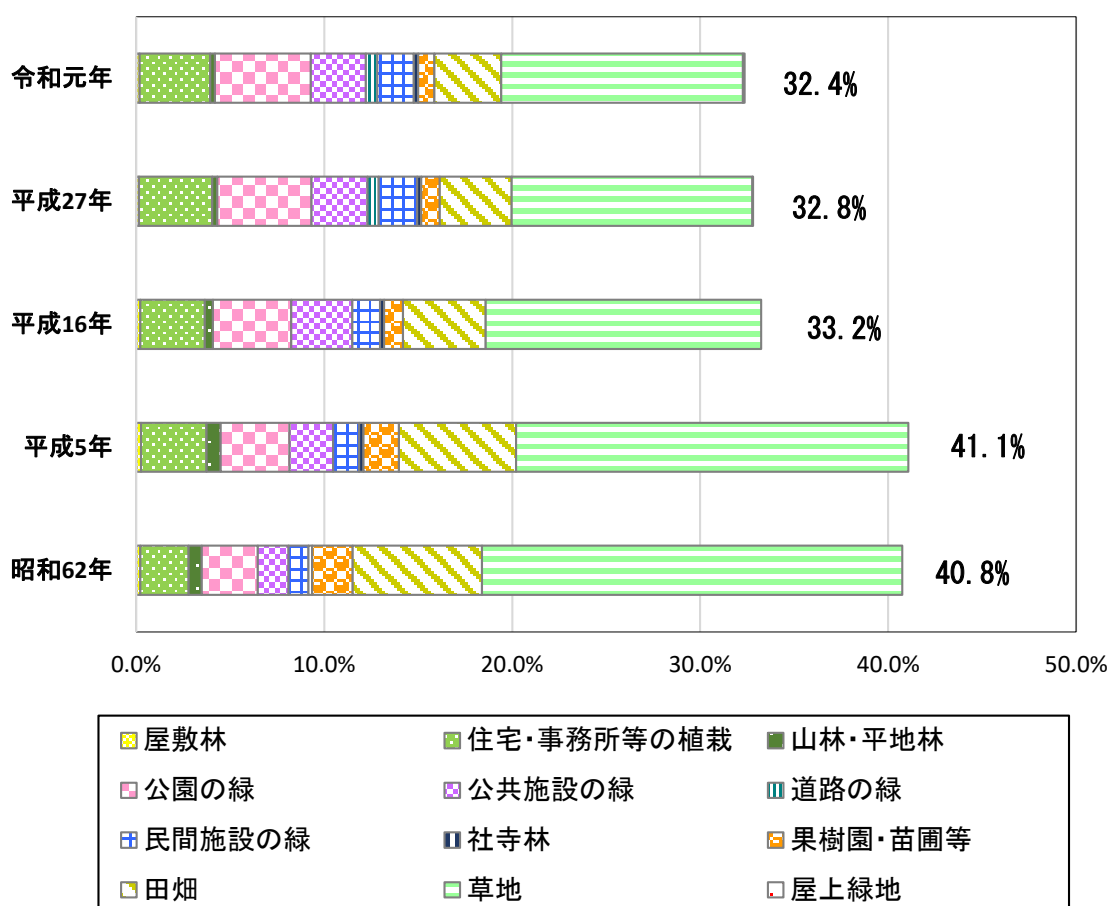
### (3) 西部地域

#### < 現状 >

地域全体での緑被率は32.4%で、「公園の緑」「草地」等の構成比が他地域と比べて高いのが特徴です。長期的にみて「公園の緑」「道路の緑」「民間施設の緑」は年々増加していますが、「山林・平地林」「果樹園・苗圃等」「田畑」は減少傾向にあります。

地域内では、若宮八幡神社と若宮自然広場、布田崖線等の緑があり、府中用水、長瀬川が地域内を通り、北端部では国分寺崖線と野川が、南端部では多摩川があり、緑の骨格を形成しています。その他、特徴的な緑として、野川公園や武蔵野の森公園といった都立公園、調布飛行場や調布基地跡地といった広大な敷地、上石原、下石原、飛田給には農地が比較的多くまっています。

緑被率の経年変化



出典：調布市緑に関する実態調査結果（令和元年度）

## < 課題 >

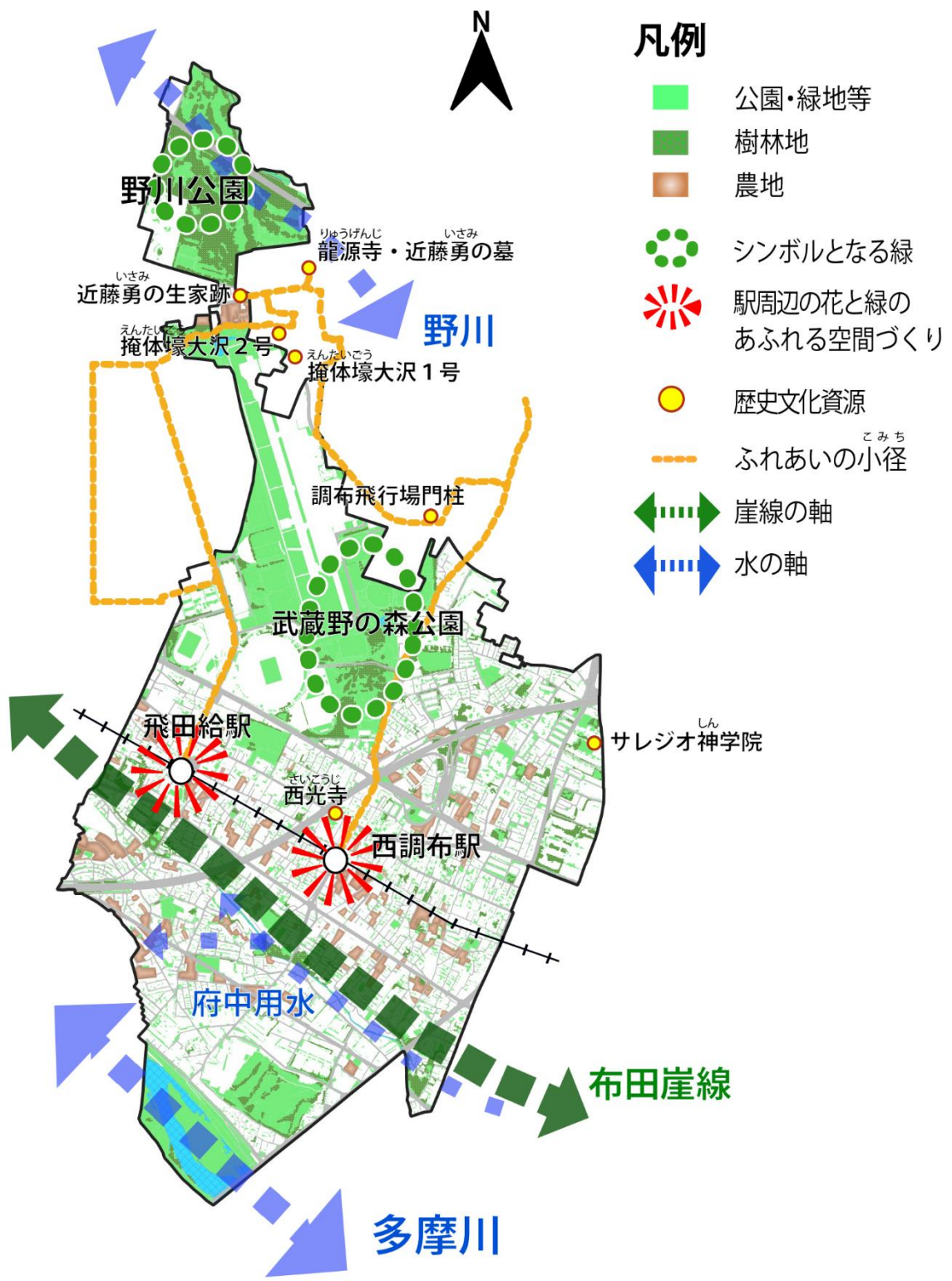
- ・減少傾向にある「山林・平地林」「果樹園・苗圃等」「田畑」の保全が課題となります。
- ・西部地域の緑被の大きな要素を占める「草地」は調布飛行場や民間のゴルフ場による部分が大きく、必ずしもオープンスペースではないため、都立公園等の緑も活用しながら、地域の住民が活用しやすい緑環境の保全・創出を図ることが重要です。
- ・飛田給駅周辺や下石原2丁目付近は公園不足地域があるとともに、民有地の公園（借地公園）に依存している地域もあり、公園の拡充が必要です。
- ・市民意向では、大きな公園や駅前といった人工的な緑についての印象が強い一方で、水辺の緑や歴史・文化的資産に対する満足度が低くなっており、自然や歴史・文化と調和した緑環境の形成が求められています。

## < 方針 >

### 大きな公園や河川等の広がりのある豊かな緑を感じる環境づくり

市内・市外の双方の人々にとって重要な都立公園や多摩川といった緑の拠点を活用しながら、鉄道周辺地域で不足する公園等の身近な緑の創出を推進し、広域的にも地域としても豊かな緑環境を図ります。

< 地域の将来像 >



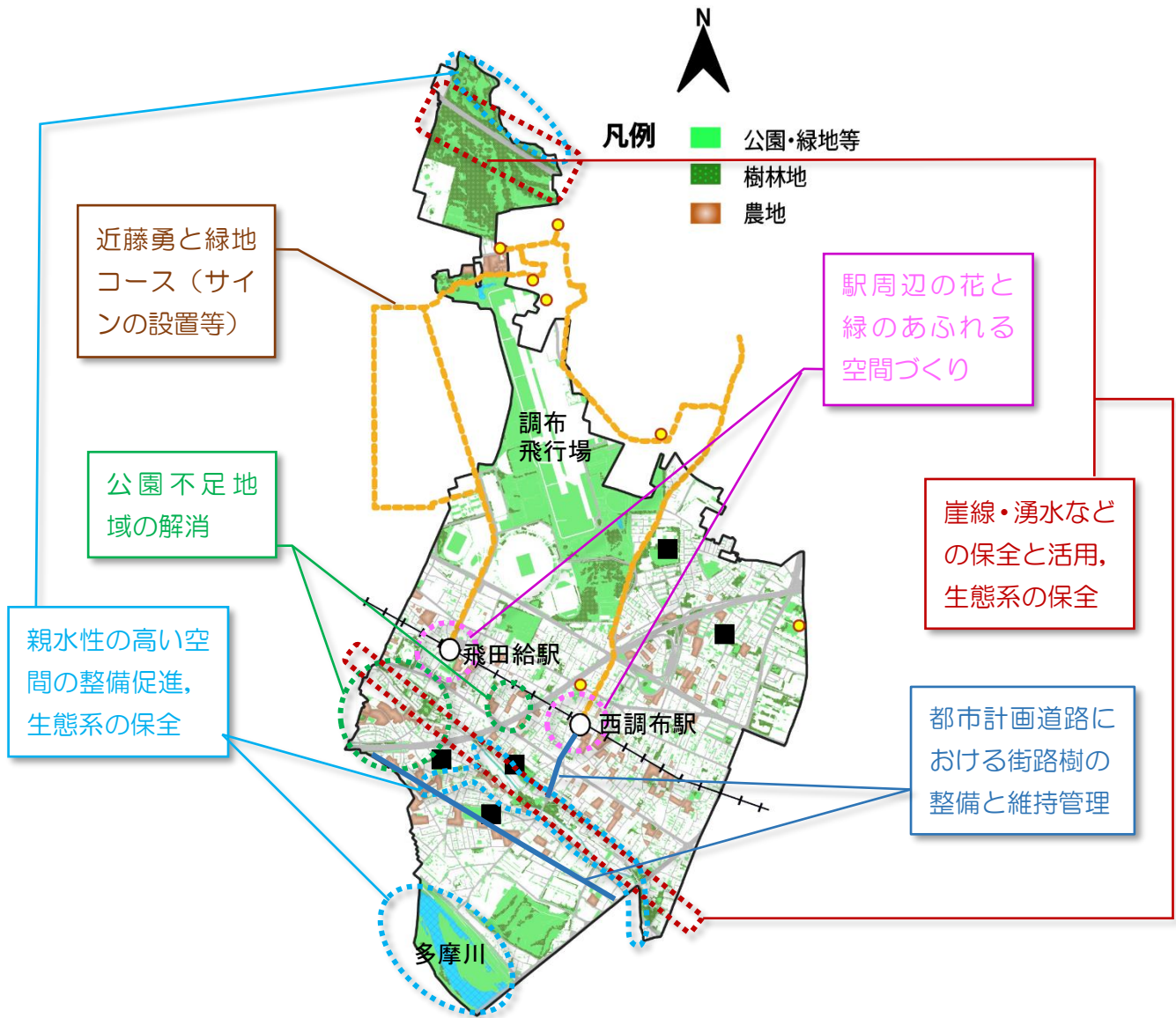


< 施策 >

施策名	概要	全体計画との対応
飛田給駅周辺や下石原2丁目付近の公園不足地域の解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛田給駅周辺や下石原2丁目付近には公園不足地域や借地公園に依存する地域があり、これらの解消のために、公園の配置・整備を検討します。</li> </ul>	1-(1) 質の高い公園・緑地の適正配置と利用促進 4-(1) 公共施設の緑化の推進
国分寺崖線・布田崖線の保全と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>減少傾向にある樹林地の保全のため、若宮八幡神社周辺の布田崖線、国分寺崖線等、武蔵野の原風景を伝え、多様な生物の棲み処となる貴重な自然を保全します。</li> </ul>	3-(2) 崖線・樹林地・湧水などの保全と活用 5-(2) 生態系の保全と再生
近藤勇の生家跡や武蔵野の森公園内の掩体壕、野川の水車等、歴史・文化的資源と調和した緑の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的資源と調和した緑の形成のため、近藤勇の生家跡や武蔵野の森公園内の掩体壕、野川の水車等、歴史・文化的資源と一体となった緑の保全と活用を推進します。</li> </ul>	3-(3) 歴史・文化資源と一体となった緑の保全と活用
多摩川・野川を活かした水のネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>水辺に対する市民満足度が低いため、多摩川・野川の河川沿いや府中用水については、市民と協働で良質な河川環境の保全と活用を図りながら、生態系ネットワークの形成を推進します。</li> </ul>	3-(4) 川辺の保全と活用 5-(2) 生態系の保全と再生
西部地域の都市農地の保全と振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>減少傾向にある農地の保全のため、上石原2丁目、下石原2丁目、飛田給3丁目では、都市景観と一体となった都市農地を保全し、農地の多面的機能を活かしながら振興を図ります。</li> </ul>	3-(5) 都市農地の保全と多面的な活用
西部地域をめぐる緑のネットワーク形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>甲州街道や品川通り、スタジアム通り、天文台通りにおいては街路樹・植栽の維持管理を適切に行い、今後整備する都市計画道路においては整備を推進します。</li> <li>小中学校等においては緑のカーテンの取組を推進します。</li> <li>地域内の緑同士の回遊性を高めるため、飛田給駅－西調布駅を結ぶ、ふれあいの小径については緑化を推進し、歩きたくなる空間創出を推進します。</li> </ul>	4-(1) 公共施設の緑化の推進 5-(1) 水と緑のネットワーク形成
飛田給駅、西調布駅周辺の緑のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛田給駅、西調布駅周辺の花と緑のあふれる空間づくりを推進します。</li> </ul>	5-(1) 水と緑のネットワーク形成 6-(2) 水と緑をそだてる意識づくり

< 施策位置図 >

- 都市農地の保全と多面的な活用
- 歴史・文化資源と一体となった緑の保全と活用
- 公立小中学校における緑のカーテンの取組推進



- 【全域で取組む施策】**
- 1-(2) 市民参加による公園整備・管理の推進
  - 2-(1) 公園・緑地等の計画的な管理
  - 2-(2) 防災性を高める身近な緑の保全
  - 2-(3) 公園・緑地の利用の適正化
  - 3-(1) 民有地の緑化推進
  - 4-(2) 市街地・住宅地の緑化による街並み形成
  - 4-(3) 身近な樹木・植栽の保全
  - 5-(3) 緑資源を活かした循環型社会の形成
  - 6-(1) 市民・事業者・行政の協働による緑化活動の推進